

(第7条第1項関係)

政務活動費収支報告等

平成30年4月13日

清瀬市議会議長

西畑 春政 殿

会派名 清瀬自民クラブ
代表者名 森田 正英

平成29年度政務活動費収支報告について

清瀬市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第1項に基づき、
別紙のとおり平成29年度政務活動費収支報告書を提出します。



平成29年度政務活動費収支報告書

会 派 名 清瀬自民クラブ

1 収 入

政務活動費 840,000円

2 支 出

(単位：円)

項 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費	533,336円	平成29年7月調査視察実施
研 修 費	0円	
広 報 費	315,144円	9/10 会派広報誌発行
広 聴 費	0円	
要請・陳情活動費	0円	
会 議 費	0円	
資 料 作 成 費	0円	
資 料 購 入 費	58,968円	定期購読誌購入
人 件 費	0円	
事 務 所 費	0円	

3 残 額 0円

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

清瀬市議会政務調査費収入支出整理簿

会 派 名	清瀬自民クラブ
経理責任者氏名	渋谷 けいし

平成29年度

単位：円

番号	月日	項 目	収入	支出	残額
		平成29年度交付分受領	840,000		840,000
1	平成29年4月29日	調査研究旅費 (航空券購入)		77,160	762,840
2	平成29年4月29日	調査研究旅費 (航空券購入)		57,870	704,970
3	平成29年7月9日	調査研究旅費 (旭川～富良野 JR乗車券類購入)		7,490	697,480
4	平成29年7月9日	調査研究旅費 (滝川～札幌 JR乗車券類購入)		23,030	674,450
5	平成29年7月9日	調査研究旅費 (札幌～苫小牧 JR乗車券類購入)		21,700	652,750
6	平成29年7月9日	調査研究旅費 (苫小牧～新函館北斗 JR乗車券類購入)		50,540	602,210
	平成29年7月9日	調査研究旅費 (新函館北斗～大宮 JR乗車券類購入)		152,180	450,030
	平成29年7月10日	調査研究旅費 (清瀬～羽田空港 乗車券購入)		6,580	443,450
	平成29年7月10日	調査研究旅費 (旭川空港～旭川駅 バス乗車券購入)		4,340	439,110
7	平成29年7月10日	調査研究旅費 (大型タクシー借上げ費)		43,200	395,910
8	平成29年7月11日	調査研究旅費 (苫小牧駅～視察箇所 タクシー運賃2台分)		8,460	387,450
9	平成29年7月11日	調査研究旅費 (視察箇所～沼ノ端駅 タクシー運賃2台分)		3,820	383,630
	平成29年7月11日	調査研究旅費 (沼ノ端～苫小牧 JR乗車券購入)		1,540	382,090
	平成29年7月11日	調査研究旅費 (大宮～新秋津 JR乗車券購入)		2,730	379,360
	平成29年7月11日	調査研究旅費 (秋津～清瀬 乗車券購入)		1,050	378,310
10	平成29年7月24日	調査研究旅費 (宿泊費(1泊朝食付プラン))		71,646	306,664
11	平成30年9月28日	会派政策広報誌印刷・配布費		315,144	-8,480
12	平成30年3月30日	政策研究図書購入費		58,968	-67,448
		以下、余白			
		残金			-67,448

①

取扱明細兼領収書 (お客様控え)

発券日 2017年04月29日
019573 清瀬駅前店

時間 12時57分
お支払い金額 77,160 円(税込)

ANA(全日本空輸株式会社)

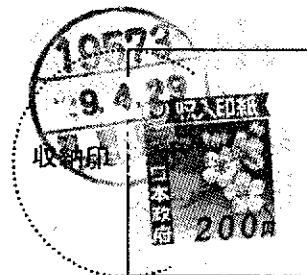
お客様氏名
お客様電話番号 *****
下記予約を承っております。

全4名 全1旅程分の金額です。

出発日 便名 区間 出発時刻
07/10 ANA4781 羽田 -旭川 0640

お支払い後の返金は当店ではお受けできません。お支払い内容に関しては下記へ直接お問い合わせください。

お問い合わせ先: 会員専用デスク
電話: 0570-029-767 受付時間: 06:30-22:00
東京03-6741-8800 大阪06-7637-8800
札幌011-726-8800 福岡092-752-8800 沖縄098-861-8800



収納代行会社
ウェルネット株式会社

この明細は大切に保管してください。

②

取扱明細兼領収書 (お客様控え)

発券日 2017年04月29日
019573 清瀬駅前店

時間 12時56分
お支払い金額 57,870 円(税込)

ANA(全日本空輸株式会社)

お客様氏名
お客様電話番号 *****
下記予約を承っております。

全3名 全1旅程分の金額です。

出発日 便名 区間 出発時刻
07/10 ANA4781 羽田 -旭川 0640

お支払い後の返金は当店ではお受けできません。お支払い内容に関しては下記へ直接お問い合わせください。

お問い合わせ先: 国内線予約案内センター
電話: 0570-029-222 受付時間: 06:30-22:00
東京03-6741-8800 大阪06-7637-8800
札幌011-726-8800 福岡092-752-8800 沖縄098-861-8800



収納代行会社
ウェルネット株式会社

この明細は大切に保管してください。

③

領 収 証

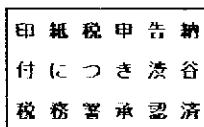
2017年 7月 9日

清瀬自民クラブ 様

金 7,490 円

ただし、乗車券類代として、上記金額を受領しました。

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。



東日本旅客鉄道株式会社
新秋津801 No.000013

領 収 書

Receipt 清瀬自民クラブ 様

領収年月日 2017.7.9

金額 ¥23,030

〔クレジット扱い〕

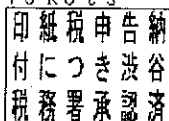
購入商品 JR乗車券類 JR tickets

(10099~20100 7枚)

東日本旅客鉄道株式会社

新秋津駅

新秋津駅C2発行 30101-02



領 収 書

Receipt 清瀬自民クラブ 様

領収年月日 2017.7.9

金額 ¥21,700

〔クレジット扱い〕

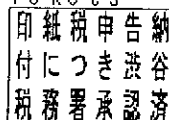
購入商品 JR乗車券類 JR tickets

(40102~50103 7枚)

東日本旅客鉄道株式会社

新秋津駅

新秋津駅C2発行 60104-02



領 収 証

2017年 7月 9日

清瀬自民クラブ 様

金61,810円

ただし、乗車券類代
(クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。

印紙税申告納
付につき渋谷
税務署承認済

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
新秋津801 No.000016

領 収 証

2017年 7月 9日

清瀬自民クラブ 様

金148,610円

ただし、乗車券類代
(クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。

印紙税申告納
付につき渋谷
税務署承認済

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
新秋津801 No.000014

領 収 書

平成 29年 7月 10日

清瀬自民クラブ 様

但しタクシー乗車代として
上記金額正に領収致しました

富良野市本町2番3号

株式会社 富良野タクシ

代表取締役 広瀬

電話(代) 22-5001

事務所 22-3111

抜者

領収書

No. 4696

日付 2017年 07月 11日 09:57
車番 000039 0000
基本運賃 ¥4,230円

合計 ¥4,230円

上記の様に領収致しました

本日は御乗車頂き有難うございました。



苫小牧個人タクシー協同組合
(個人) 苫西タクシー

苫小牧市日新町1丁目2番5号
携帯電話080-3233-7756

領収書

No. 4272

日付 2017年 07月 11日
車番 003091 0000
基本運賃 ¥4,230円

合計 ¥4,230円

上記の様に領収致しました

本日は御乗車頂き有難うございました。



苫小牧個人タクシー協同組合
(個人) かつらタクシー

苫小牧市もえぎ町2丁目13番24号
携帯電話 090-3772-7036

領収書

No. 4754

日付 '17年 07月 11日 12:05
車番 0261 000
メータ運賃 ¥1910円

合計 ¥1910円

上記の通り領収致しました

(消費税を含みます。)

現金・クレジット・チケット

SKグループ

苫小牧市元中野4丁目14番14号
臨港昭和交通(株)

ご乗車ありがとうございました。
お車のご用命はGPS方式スピード配車の

SKタクシー無線センター

☎ 34-6000

領収書

No. 3281

日付 '17年 07月 11日 12:07
車番 0268 000
メータ運賃 ¥1910円

合計 ¥1910円

上記の通り領収致しました

(消費税を含みます。)

現金・クレジット・チケット

SKグループ

苫小牧市元中野4丁目14番14号
臨港昭和交通(株)

ご乗車ありがとうございました。
お車のご用命はGPS方式スピード配車の

SKタクシー無線センター

☎ 34-6000

ご利用明細票

お取扱日	店番	取扱番号
30-03-3000845		A93170003
取扱店	キヨセナカサト	
払込口座	[REDACTED]	
払込金額	*58,968	料金 *0
振替受付票		
払込みの証拠となるものですから大切に保存して下さい。料金には、消費税等が含まれています。(ゆうちょ銀行)		
入金額	*60,000	
おつり	*1,032	
はじめての投資信託はゆうちょで!		

印紙税申告納付につき難町税務署承認済

領収証

清瀬自民クラブ 様

No. _____

¥ 71,646 -

但 3/1 宿泊代 (朝食付 × 7名様)

129年 7月 24日 上記正に領収いたしました

★

内訳	
現金	
小切手	/
手形	/
消費税額等(%)	



〒204-0003 東京都清瀬市中里4-1177

株式会社 KEN ドリ

〒2040003
東京都清瀬市中里4-800-4

領収証

No. R17100301

2017年 9月 28日

清瀬自民クラブ
お客様番号 FC0010066

御中

合計金額 ¥315,144
税抜金額 291,800円 消費税8% 23,344円

上記の通り正に領収致しました。

有限会社ファーストコーポレーション

〒103-0026
東京都中央区日本橋兜町17-2兜町第6葉山ビル4F
TEL. 03-6808-2727 FAX. 03-6800-5507

担当者：

内 訳	金 額
現金	
小切手	
振込	315,144
手形	
相殺	
振込手数料	
その他	
合 計	315,144

備考：
印刷費/新聞折込配布費 として

手形期日：
手形No.：
摘要：



事務連絡
平成29年5月2日

清瀬市議会事務局長
海老沢 敏明 殿

清瀬自民クラブ
代表 齊藤 正彦

平成29年度 清瀬自民クラブ政務調査視察における大型タクシー利用について

新緑の候、貴職、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、表題の件について下記の事由があることから平成29年度政務調査視察において大型タクシーを利用しますので、事前にご報告致します。本件に関する疑義については、下記担当者までお問い合わせください。

なお、本件政務調査視察においても関係法令及び条例並びに清瀬市議会内申し合わせ事項を順守し実施することを申し添えます。

記

1. 視察箇所への移動に際し、鉄道等公共交通機関の運行本数が極めて少なく、これを利用する場合、時間的な制約が大きくなり合理性に欠けるとともに、行程に著しく遅延をもたらすことで視察の実施に支障があること。
2. 小型タクシー利用の場合、移動距離が長距離であるほか、参加人数が7名であることから、2台利用となり経済的に不合理であること。

なお、調査視察の行程は、別紙資料を参照下さい。

以上

担当者
清瀬自民クラブ 渋谷 けいし

■■■■ - ■■■■ - ■■■■

別紙

7月10日(月)

羽田空港 6:40発 ⇒ ANA4781便 ⇒ 旭川空港 8:15着

旭川空港 8:45発 ⇒ バス ⇒ JR旭川駅 9:45着

旭川 10:00発 ⇒ JR ⇒ 富良野 11:40着

富良野駅 11:50発 ⇒ 大型タクシー ⇒ 14:00~芦別市視察 ⇒ 芦別駅 16:00着

芦別 16:23発 ⇒ JR ⇒ 滝川 16:57着

滝川 17:02発 ⇒ ライラック34号 ⇒ 札幌 17:55着

7月11日(火)

札幌 8:39発 ⇒ スーパー北斗6号 ⇒ 苫小牧 9:27着

10:00~Jファーム視察

苫小牧 13:02発 ⇒ 北斗12号 ⇒ 新函館北斗 15:51着

新函館北斗 16:17発 ⇒ はやぶさ30号 ⇒ 大宮 20:06着

大宮 20:31発 ⇒ むさしの号 ⇒ 新秋津 20:54着

***太字部分の行程が大型タクシー利用**

平成29年度 清瀬自民クラブ 調査視察報告

1. 実施日時及び調査視察先

平成29年7月10日 北海道芦別市（14時00分～）

平成29年7月11日 ㈱Jファーム（10時00分～）

2. 調査視察内容

芦別市：合宿の里事業について

㈱Jファーム：スマートアグリ生産プラントについて

3. 調査視察対応者

芦別市：芦別市教員委員会職員

㈱Jファーム：㈱Jファーム社員

4. 調査視察者

森田正英、斉藤正彦、中村清治、友野博子、粕谷勇、渋谷信之、澁谷桂司 以上7名

5. 調査視察報告

(1) 芦別市

芦別市は、北海道のほぼ中央部に位置し、市域の約88%を森林が占め、芦別岳などの山々に囲まれた緑豊かな自治体である。かつては、石炭産業で栄え、最盛期には人口約7万5千人となったが炭鉱の閉山に伴い過疎化が深刻な問題となっている。

芦別市では、昭和52年に健康都市宣言を行い各種スポーツの普及による市民の健康づくりを推進してきたが、平成10年に全日本バレーボール協会から全日本女子バレーボールのホームタウンとして指定され、油谷体育館がJOCから2000年シドニーオリンピックに向けた「バレーボール競技強化センター」として認定された。

これを受けて油谷体育館を中心としたエリアでバレーボールチームの強化合宿が実施されるようになったことから、市域の活性化と交流人口の増加、市の知名度のアップと経済効果を見込み、「合宿の里構想」として市内のスポーツ施設と宿泊施設を利用した各種スポーツ合宿の誘致に力を入れることとしたものである。これまで全日本男子・女子バレーボールチームやキューバ男子・女子ナショナルチーム、JTサンダースなどの合宿が実施されており、「合宿の里構想」を立ち上げてバレーボールチームが来たわけではなく、全日本女子バレーボールチームが合宿に来るようになって「合宿の里構想」が立ち上がったとのことであった。

この「合宿の里構想」は、「あしべつ宿泊交流センター」や「なまこ山総合運動公園」などを拠点とし施策を展開しており、平成17年度から平成22年度においては、毎年2万人

の合宿を受け入れている。合宿の里構想の中心となる「なまこ山総合運動公園」は、平成11年度に陸上競技場、平成12年度に総合体育館、平成15年度に市民球場、平成16年度にパークゴルフ場北コース、平成17年度に芝生広場、パークゴルフ場南コースの施設を整備し、また合宿誘致にあたり、合宿利用団体に対しての市内スポーツ施設の使用料の減免(割引)、レンタカーの無料貸出し、アイシングなどに必要な氷の無料提供や最寄り空港までの送迎、市の担当者を練習場所への派遣や市民が主体となってバレーボールサポーターを結成するなど官民一体となった支援体制を整えている。特に、全日本女子バレーボールチームに対しては、市職員が、送迎、球拾い、買い出し等のマネージャー業務もサポートするなど、特に手厚い支援をしているとのことであった。

本事業による経済効果額については、交流人口一人当たり500円と想定しているとのこと、合宿所となっているホテルでは、食事の食材はなるべく芦別産を使っており、ホテル従業員は全員が芦別市民であるから雇用の創出といった効果もあると考えているとのことであった。

また、経済効果以外にも市民がトップレベルの選手の試合を地元で見られるというメリットがあると考えており、子供たちにもいい影響があると考え、同時に選手たちによるスポーツ教室も開催しているとのことであった。この合宿の里構想は、まちに活気を与え、交流人口の増加、市の知名度アップといったシティプロモーションや様々な経済効果を考えると事業効果は計り知れないものであると思う。

本市も公式試合の規格に合致したサッカー場があることから、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、本市を合宿先に選んでもらうような取り組みが必要ではないかと感じた。

(2) 株Jファーム

株式会社Jファームは、省エネルギー技術とICTを最大限に活用したスマート農業としての施設園芸を確立するため、平成25年11月、生産プラントの建設に強みがあるJFEエンジニアリング株式会社と、リーフ栽培技術や農業ノウハウを有している株式会社アド・ワン・ファームが共同で設立した会社であり、平成26年8月から施設稼働を開始している。

はじめに会議室でビデオ説明を受けた後、実際にベビーリーフ、トマトの生産施設を見学し、施設では、ベビーリーフとトマトを栽培しており、ガスエンジン・トリジェネレーションシステム(電気・熱・二酸化炭素の供給)やバイオマス燃焼ガス浄化システム(熱・二酸化炭素の供給)を導入するなど、エネルギー利用の最適化を実現している。トリジェネレーションシステムとは、熱源から生産される電気や熱だけでなく、エンジンの排気ガスに含まれる二酸化炭素も有効活用するエネルギー供給システムであり、常に栽培に適した二酸化炭素濃度や室温、光量、養分が管理され、安定した品質の野菜を生産していた。特にハウス内の二酸化炭素濃度を通常の大気以上にするることによって、光合成が一層活発に行われ、収

穫量が増えていくとの説明であった。

トマト栽培においては、土を使わないロックウール栽培法を採用しており、施設全体でスマートアグリシステム（高度栽培環境制御システム）を採用し、IT技術を駆使した高度栽培制御システムによる生産環境の管理を行っているとのことであった。

そのほかにも、地域の木質バイオマスや、温泉熱などの多様なエネルギー源を活用し、ハウス内に電気、熱、二酸化炭素を提供するなど、農作物にとって最適な生産環境を整備しており、南国系の果物である、マンゴー、ドラゴンフルーツ、パッションフルーツ、アボガドなども試験栽培され、今後、栽培品種を拡大していきたいとのことであった。

本市の農業においても施設を活用した栽培が盛んであり、こうした先進的なシステムを導入した取組においても学ぶべき点が大いにあり、これらの栽培技術について今後の展開に注目すべきであると感じた。

いずれの調査視察においても、事前の調査や勉強会を重ねた結果、現地では政策的・実務的に踏み込んだ調査や質疑応答が行われ、資料だけでは読み取れない貴重な視察及び検証ができたものとなった。

報告者 渋谷けいし